

Kodak
LICENSED PRODUCT

© The Tiffen Company, 2000

KODAK Color Control Patches

Blue 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 B 17 18 19
Cyan 3 4 5 6
Green 4 5 6
Yellow 8 9
Red 10 11
Magenta 12 13
White 14 15
3/Color 16
Black 19

狂歌百人一首

4179
#



初春 捨魚
 立久 成丈
 清澄
 和樽
 礼帳



至清堂捨魚
 喜如上の言を
 あやれ 綾倫子
 木孫もあや
 社の梅々

天正五年十月廿六日寄
 尾形龜五郎氏贈

撰者 文々舎

狂歌 極彩色百人一首

筆者 至清堂 催主 葛飾連
 画者 岳亭



霞

夏野

まゆ柳の

つやある

むきん 髪と

あそび 糸と

まの 糸を

つゝ山ひめ

まろ

うねひ

耳

笑をせて

手をとつや

各古屋 一書

ハ 手持り

立ぬたぬ 髪を

とめあつて

まやま 髪と

山 尻

各古屋 真歌

つゝ山ひめ

柳

あそび 糸と

えいこを

あやう や

せ



和則

道文

うめさくら

うねひ

うねひ

うねひ

千國

賞

茶雅丸

うねひ

うねひ

うねひ

矢立の 枝も

あやう や

あやう や

山まつのはら

うねひ

うねひ

うねひ

うねひ

花咲亭 米守



とめあつて

うねひ

うねひ

うねひ

悟智忘 腹書



とめあつて

うねひ

うねひ

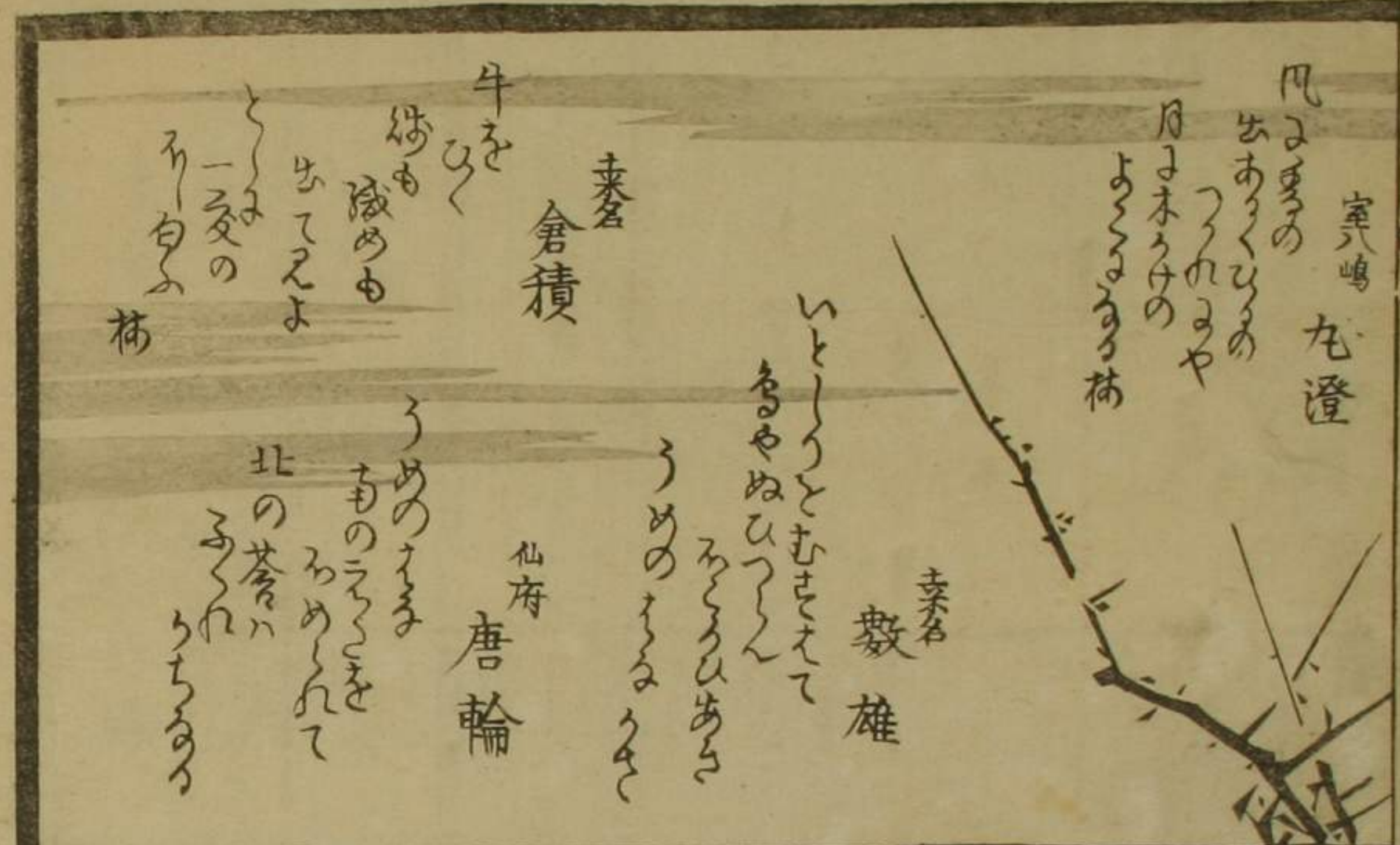
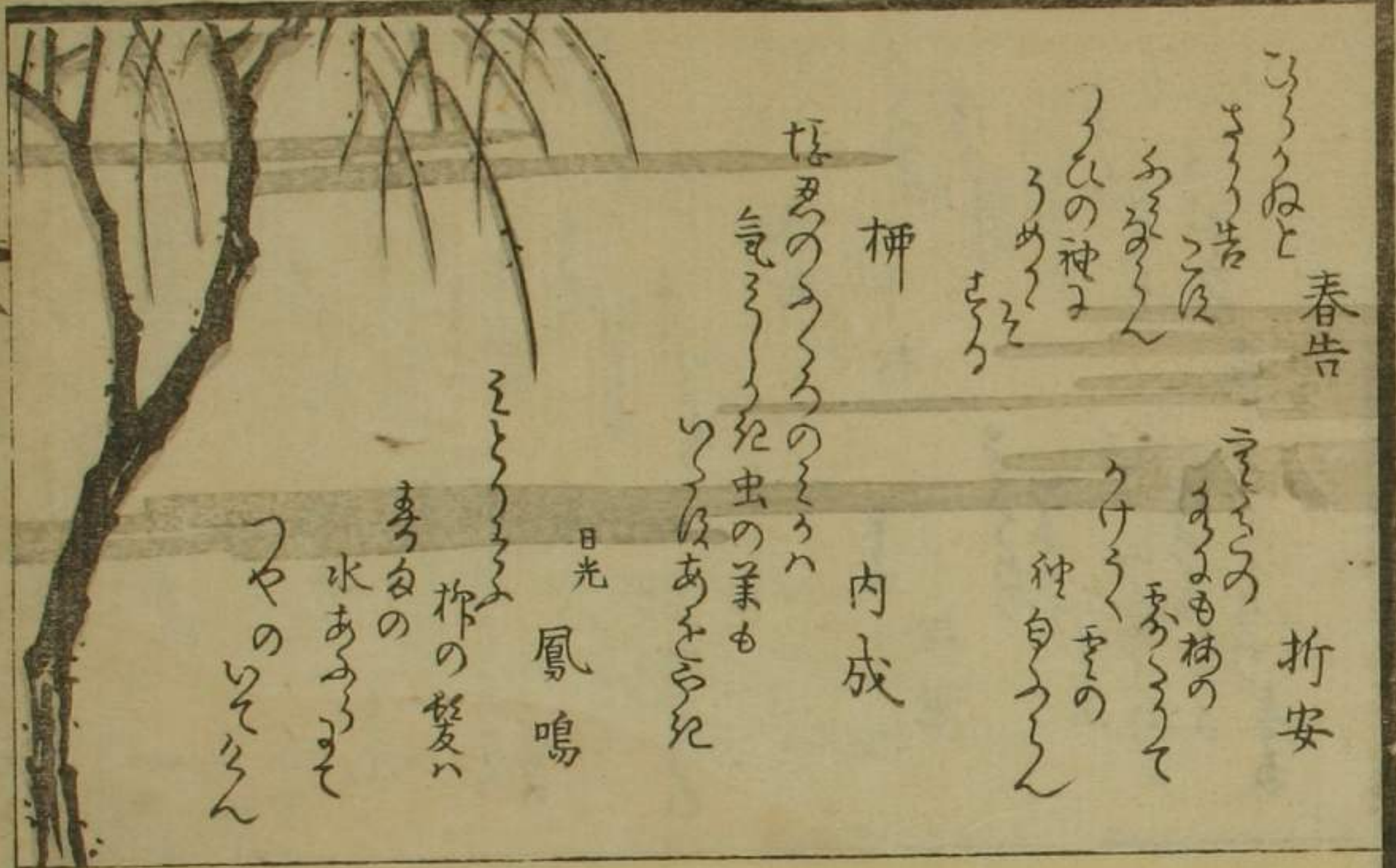
うねひ

うねひ

うねひ

うねひ





冬吉屋 歌盛
うらうらおちろ
仲のゆるゆる
わけ入る豆の
山の隠しせ

ひ死とめ
種のみこ
三ぬくを
まむ
そこのあま

麟馬
あひまぬ
おこのあ
まむ
いぬらう

兼名 負生



春香
うらうら
人をぬらう
井の下秀

走
くひのうら
おこのあ
まむ

下尾裂
音高
月あ
そこのあ

松世
おこのあ
まむ

糸光
あひまぬ
おこのあ
まむ



文明舎 貫九
あひまぬ
おこのあ
まむ

あひまぬ
おこのあ
まむ

あひまぬ
おこのあ
まむ



まき園
まゆ子

あひまぬ
おこのあ
まむ

あひまぬ
おこのあ
まむ



猫のちのりゆくとんよ 茶雅丸
 まつたつ 長寄 傳丸
 あつたつ 松蔭
 初意 柳木 彈



圓池堂 都鞆



雅雄
 道文
 松井田 英



百花魁梅龍
 本店

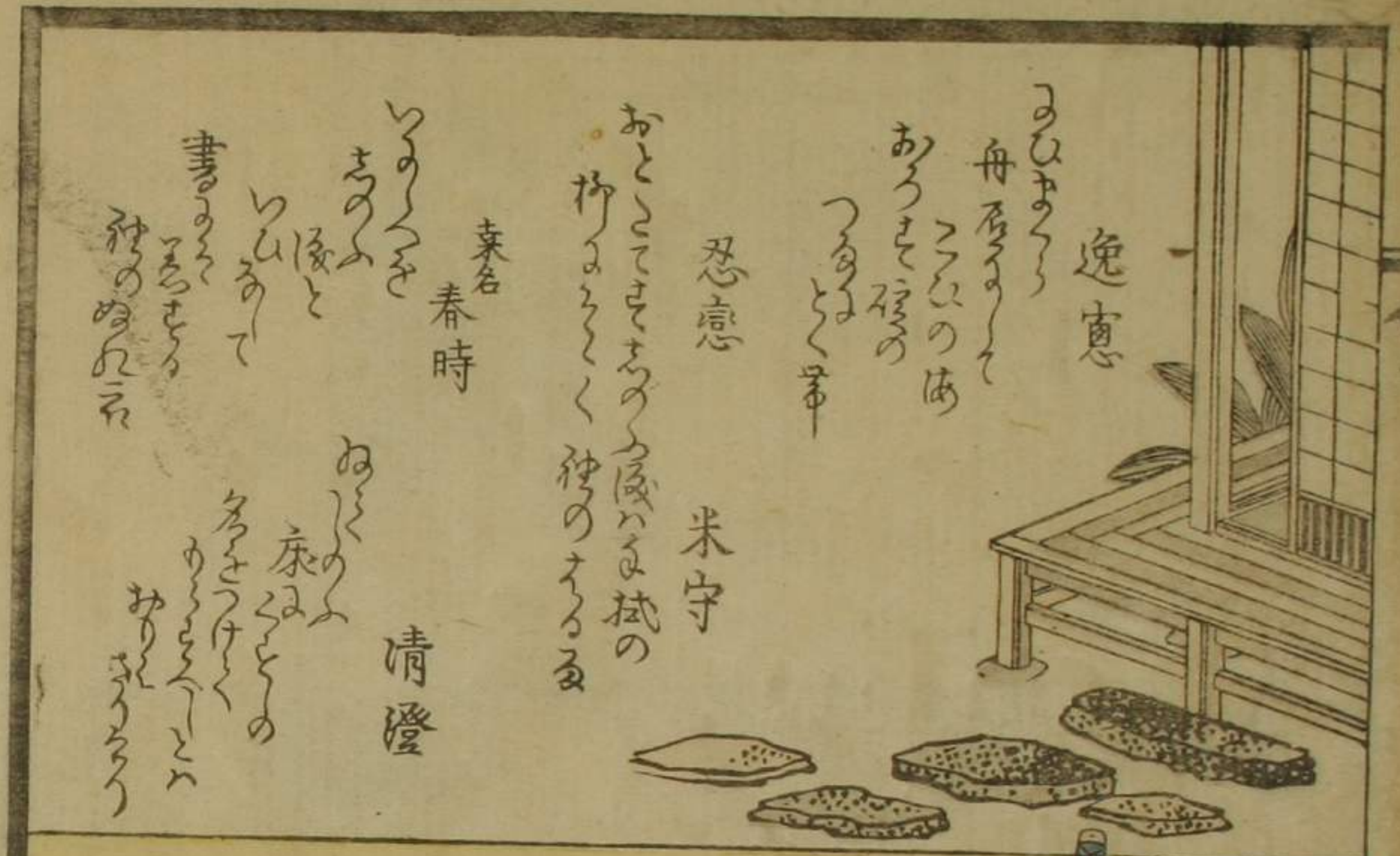




山 金元
 あつちの
 ひげて
 まひろた
 不二の香の
 歌雄
 外成
 沙道
 仲とら
 不ニヤちひさた
 手のとる舟



蝶宿亭香摘
 春時
 清澄
 忍意
 朱守
 逸憲
 舟屋
 舟屋の
 あつちの
 つらとら
 おとこま
 柳の
 春時
 清澄
 忍意
 朱守
 逸憲



春時
 清澄
 忍意
 朱守
 逸憲
 舟屋
 舟屋の
 あつちの
 つらとら
 おとこま
 柳の



一馬
 春時
 清澄
 忍意
 朱守
 逸憲
 舟屋
 舟屋の
 あつちの
 つらとら
 おとこま
 柳の



松
 捨魚
 夏影
 雀
 春時
 田子の浦産



兼名
 不二亭
 行恒
 田子の浦産

初春

一照めて...
 甜々...
 あつ...
 あけ...
 あま...
 との...
 さ...
 ら...

千本
 友呼
 の丸
 虎住
 市住
 糸正
 羨太丸
 綾棧

あつらふねく、下女もさうや汲水のまのかつらふむく入元目寄居道寄

霞

子りゆの一匹ねようす川崎おきよなけてしむらゝのけちらうさう鳳管

こゝ根心上毛松葉田の草もゆるさうしん矢立の枝やゆきほるまうらん里住

しつのはう全相生の二のりもしんいふのりしつこかのほ戸性元住

しん日光あつらふねくしん二流はかみついでらまのむきしん峰近

しん日光あつらふねくのしん二流はかみついでらまのむきしん鳳鳴

しんあつらふねくのしん二流はかみついでらまのむきしん梅満

しんあつらふねくのしん二流はかみついでらまのむきしん汐道

しんあつらふねくのしん二流はかみついでらまのむきしん妻名数雄

ふつらふのしんあつらふねくしん二流はかみついでらまのむきしん里雄

山人も不老不死やう仙舟かみついでらまのむきしん雀丸

むら桐生あつらふねくのしん二流はかみついでらまのむきしん守丸

かみ宇津宮あつらふねくのしん二流はかみついでらまのむきしん真席

しんあつらふねくのしん二流はかみついでらまのむきしん賣安

しんあつらふねくのしん二流はかみついでらまのむきしん春門

しんあつらふねくのしん二流はかみついでらまのむきしん繁樹

しんあつらふねくのしん二流はかみついでらまのむきしん志丸

しんあつらふねくのしん二流はかみついでらまのむきしん藤居空寐

しんあつらふねくのしん二流はかみついでらまのむきしん水戸珍馬

師（桐生）守住
 正世
 海老丸
 養左古
 有時
 金元
 糸正
 數雄
 鹿住
（福島）
 鹿住

賞

山（鹿）住
 赤麻呂
 天（水戸）珍馬
 立（オウノ）名丸
 守（桐生）茂
 星丸
 舟道
 未佛
 梅
 万守

春門 菅簾 梅竜 市任 綾機 麟馬 養左古 明安 栄白 記

春門の梅もさうりうけり
 菅の葉もさうりうけり
 梅の枝もさうりうけり
 市任の市もさうりうけり
 綾機の綾もさうりうけり
 麟馬の麟もさうりうけり
 養左古の養もさうりうけり
 明安の明もさうりうけり
 栄白の栄もさうりうけり

繁樹 笠成 志丸 星丸 清澄 本任 根丸 賣安 刺堅 真守

繁樹の繁もさうりうけり
 笠成の笠もさうりうけり
 志丸の志もさうりうけり
 星丸の星もさうりうけり
 清澄の清もさうりうけり
 本任の本もさうりうけり
 根丸の根もさうりうけり
 賣安の賣もさうりうけり
 刺堅の刺もさうりうけり
 真守の真もさうりうけり

下妻茶阿
寄居

くみゆまのいさぎのにちりよまゆめくうめり
「ゆきんちりよまゆめくうめりかきうめく
桐生 三 村 樂

柀

とらうらうらめくかたの邪ナうと見まうようちのあを柀
ちりよまあひあけしうま柀の勢をすうまう目の水ら
凡そけえ凡のちゆしうまうのなうあしうし柀のあそやだ
ちりよのまうしあうてうらうし柀まうのあやよあま
あまやだのちゆしうまうの自ひる宗祇法師のほひりりり
ま柀の女あうらうしうらうせのひまうらう中よまのうら
うらうしうま凡の柀の勢をすうまうまうしうらうし
雪 正 守 月 系 待 綾
盤 世 數 照 正 綱 重

麻ゆかこむしりよまゆめくうめりかきうめく
川又 為 貞

若川の思せくあまゆけひてう上つまうらうせのあそあま
笑 万 守

水あらんうらうしうらうの枝あま柀のまゆやゆま
水戸 珍 馬

ちりよの女抱よまゆま柀 ちりよまうらうのま
桐生 元 佳

ちりよのえかきあめくこのあま虫柀の勢をすうま
川 露 玉 近

ちりよのえかきあめくこのあま虫柀の勢をすうま
露 玉 近

ちりよのえかきあめくこのあま虫柀の勢をすうま
鈴 成

ちりよのえかきあめくこのあま虫柀の勢をすうま
弘 器

ちりよのえかきあめくこのあま虫柀の勢をすうま
稻 丸

ちりよのえかきあめくこのあま虫柀の勢をすうま
今 柀

あまのつたもろくよふさふさうて凡のこゝろあるまの地のる 上毛 花元
あまのつたもろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 素岩 歌住
あまのつたもろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 全 数雄
あまのつたもろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 福島 鹿住
あまのつたもろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 音崎 稻人
あまのつたもろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 仙舟 唐琴
あまのつたもろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 高良
あまのつたもろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 待細
あまのつたもろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 吹吉
あまのつたもろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 折安

早蕨

制れのまろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 友呼
あまのつたもろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 川近
あまのつたもろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 峯近
あまのつたもろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 音 丸
あまのつたもろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 素岩 永雄
あまのつたもろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 仙舟 唐丸
あまのつたもろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 雀宮 福良
あまのつたもろくよふさふさうて糸ようろくの凡のあまやん 繁樹


~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~

下徳屋

官崎

松番

相生

華々 音芳 細人 松古 茶店 枝友 細記 綾丸

徳

~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~  
~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~の~~~~~

妻名

全

松番

捨魚 駒彦 内成 鳳鳴 都革 行恒 千村 倉積 仲住 辰丸

ちか〜
か〜
か〜
か〜
か〜
か〜
か〜
か〜
か〜
か〜

宇津宮

是成

文庫

吹吉

負俊

清喜

捨魚

松世

玉成

糸女

寄居

初戀

か〜
か〜
か〜
か〜
か〜
か〜
か〜
か〜
か〜
か〜

朽木

松世

玉成

糸女

か〜
か〜
か〜
か〜
か〜
か〜
か〜
か〜
か〜
か〜

見

無闇

竺成

志丸

忍恋

名吉屋

琴彦

香久美

綾重

下

茶雅丸

和則

おまじひめり甲斐のくらちのやまのめりまのまはさる不_レ可_レなり山
 大_二の_一の_二の_一の_二の_一の_二の_一の_二の_一の_二の_一の_二の_一の人ある
 代_二の_一して_レま_レも_レい_レち_レと_レ化_レし_レる_二の_一わ_レか_レた_レら_レぬ不_レ可_レなり
めい
めい
めい
めい
めい
めい
めい
めい
めい
めい

叁
 之
 薰
 雀
 子
 沙
 道
 文
 字
 丸
 繁
 樹
 一
 葉
 友
 呼
 雪
 繁
 枝
 友

松

めい
めい
めい
めい
めい
めい
めい
めい
めい
めい
めい
めい
めい
めい
めい

内
 成
 改
 子
 跡
 成
 千
 村
 内
 成
 真
 成
 春
 香
 捨
 臭

るんとりん名のあつ存人のよきひるのすくすくものもあつてめてに
千年とたひるめてもゆひるありるの 傭の存の毛ころも
うつらうつらせの存り山ひのちの戸柳のまらるるも
らね巾のえおとささひてひらるるよよとひをささるる 子代の友つる

藁歌かきこ 白毛舎撰

ついましをうらうらとひらるるこの花よあおあまのあめり
ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

麻 覺
春 告
雪 簾
袖 守
蟹子丸
夏 躬
刺 堅
負 俊
万 守

選者文々舎蟹子丸 久保氏名は有弘通称義十郎
幕下庶の士市賄方を勤む御名を諧遊とりあ、後
蜀山人の社中に入り狂名を文々舎蟹子丸といふ
これば四阿山の合名する所是後首飾公羽と稱し
門下雲の如し天保八酉年二月歿年五十八
一画 家 岳 亭 丘 山 江戸の戯作者有久保氏名と稱す
(一名守之吉) 姓は八島名は春信 堀川子孫又
陽齋定岡と稱す狂歌正定西葎竹の世の畫
也堤秋松首飾北文子画よよ又カ説を善くし
二戯作あり狂歌名人傳、百景町の傳也

